

平成25年4月1日

フクダ電子株式会社

代表取締役社長 白井大治郎

医療機器業界における透明性ガイドライン施行に際してのお願い

平素より格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は、我が国の医療機器事業者が参画する業界団体である日本医療機器産業連合会（医機連）に加盟し、日々医療機関等の皆様をはじめとするお客様各位とお取引をさせて頂いております。当医療機器業界は、医薬品業界共々、公的な医療保険制度の下で事業活動を行っております背景もあり、予てより国内外から高い倫理観と透明性を求める声が寄せられておりました。

この声に応える形で平成24年1月に医機連から「医療機器業界における透明性ガイドライン（透明性ガイドライン）」が発出され、会員事業者は、医師をはじめとする医療スタッフの皆様および医療機関、学会・研究会等を相手先とした金銭抛出につき、各社毎に自社指針を作成した上で平成25年度分を平成26年度以降に公開することがルール化されました。

弊社は、透明性ガイドラインの趣旨および医療機器事業者に求められる社会性に鑑み、「フクダ電子株式会社と医療機関等との関係の透明性に関する指針（弊社指針）」を定め、平成25年度決算確定後、平成26年6月以降に弊社のホームページ等にて公開することと致しました。

弊社は、透明化ガイドラインを十分に参酌して定めた弊社指針に則り、適正な運用をもって公開に当たって参りますと共に平成23年2月に日本医学会が定められました「医学研究のCOIマネジメントに関するガイドライン（COIガイドライン）」を最大限尊重させて頂くことをここに表明致します。

関係各位におかれましては、何卒、ご理解、ご高承賜りますようお願い申し上げます。

謹白